



▲牛津江排水機場



上瀧 政登

## 大雨時の 排水ポンプ停止は

市長

ポンプ停止を避けるように  
対応したい

**上瀧** 近年自然災害が多発している。大雨、台風等で市民の安全、安心が保たれるようにさらなる対策が必要と思われる。

**市長** ポンプ停止要請については河川事務所とのやりとりでギリギリのところまで停止を避けてもらうよう対応したい。

**総務部長** 庁舎防災機能強化事業に取り組み業務継続性の確保に取り組む。

**建設部長** 牛津江川整備事業は県が担当しており河道掘削等がなされているが堤防のかさ上げについては要望活動を行っている。

## コロナ対策は万全か

上瀧

コロナ対策として日頃の生活はもちろんであるがワクチン接種が決め手になると思うがその状況はどうか。

**市長** 集団接種、個別接種ともに順調に推移している。7月には64歳以下にも始まり工夫を凝らしながら取り組む。



永瀧 和正

## 小城運動公園計画跡地の 活用策は

市長

今、事業費をかけるのは非常に無理がある

〔仮称〕小城フットボールセンター建設に伴う排水対策は

**永瀧** 牛津保健福祉センター「アイル」北側の計

画地約3haの田の貯水量は約9,000m<sup>3</sup>。この量を排水するのに3m<sup>3</sup>/秒の排水ポンプで50分かかる。

排水対策として、前満江排水機場の遊水池を約9,000m<sup>3</sup>分拡張すべきである。

**市長** 排水計画を検討し、地元排水対策委員と協議して進めていく。



▲（仮称）小城フットボールセンター建設計画図

**市長** ①地権者、町民、議会などから意見を聞いて中止した。自然に配慮した開発が大事。  
②変化する部分もあるが行政の継続性は非常に大事と思っている。

市民の福祉の向上に役立つ活用策に早く取り組むべきである。



深川 高志

## 江里口市政5期目の 運営方針は

市長 誰もが安心して暮らせる  
小城市を目指す



▲江里口市政5期目をむかえる小城市

**市長** 基本と

なる政策の充  
実については  
は、第2次小  
城市総合計画  
である。目指  
す将来像につ  
いては「誇郷  
幸輝くみんな  
の笑顔が輝き  
幸せを感じる  
ふるさと小城  
市という形に  
している。私  
自身のまちづ  
くりの理念に  
ついては、不  
易と流行と  
申し上げまし  
た。誰もが  
安心して暮ら  
せる小城市  
を目指し、第  
2次総合計  
画の施策に沿  
って今後も  
まちづくりを  
進めていく。

**深川** 小城市の財政につ  
いてどのような状況であ  
るのか。

**総務部長** 小城市では毎  
年、今後10年間の実施す  
る見込みの事業計画につ  
いて、財政見直しを作成  
している。持続可能な自  
治体経営ができるよう  
に、限られた財源を有効  
に活用し、歳入と歳出の  
バランス、基金の残高等  
を踏まえた中期財政計画  
を作成している。健全な  
財政運営を行っていく必  
要があると考えている。

**中尾** 市民へのサービス  
とは、どのようなことを  
いうのか。

**市長** 多様化する市民  
サービスの全てに対応す  
ることは、限界がある。  
市民の皆さんのニーズを  
的確に捉え、満足度の高  
いサービスを提供するこ  
とが我々に求められてい  
ると思う。

するのは、警察等による  
問い合わせで、非常に難  
しい状況である。

**中尾** 市民の皆さんが、  
気持ちよく利用できるバ  
スにするため、バス停を  
増やせないか。

○市内の遺跡、古墳など  
の保管、保護の状況に  
ついて



中尾 勝吉

## 市民サービスとは

市長 市民生活を支える上での  
公的なサービス

### その他の質問

**建設部長** バス停が増え  
れば、最初に乗った方が  
最後の目的地ま  
で行くまでに、  
非常に時間がか  
かるという話も  
聞いている。利  
用者にとって非  
常に大きな課題  
であり、今後、  
協議会等で提案  
していく。

**建設部長** 小城市内の道  
路は交通量が多いため、  
どこにでもバスを止め乗  
り降りできる区間を設定



▲わかりづらい巡回バス停

**深川** 江里口市長5期目  
における市政運営の取り  
組みの考え、方針につ  
いて、基本となる政策の充  
実とはどのようなことを  
考えているのか。

ついては、不  
易と流行と  
申し上げまし  
た。誰もが  
安心して暮ら  
せる小城市  
を目指し、第  
2次総合計  
画の施策に沿  
って今後も  
まちづくりを  
進めていく。

要があると考えている。



香月チエミ

## 死亡したペットの 焼却処理の対応は

**市民部長** 特別な施設がない現場で  
精一杯配慮している

**香月** ペットとして犬や猫を飼っている家庭は多い。それらの小動物が亡くなったとき、死がいの取扱いについて現状は。

**市民部長** 法的には一般廃棄物としてクリーンヒル天山に搬入して焼却する。飼い主が直接、廃棄物中継センターに持ち込んだ小動物は令和2年度27件。内訳は犬が15%、猫が35%、鳥などが50%。

**香月** 持ち込みの場所に祭壇を設置するなど飼い主の気持ちに寄り添った対応はできないか。

**市民部長** 現在、動物専用の特別な施設はないが

すべての処理工程がごみと一緒にということではなく、中継センターに持ち込まれた場合、専用の箱に入れ一般ごみとは別にパッカー車に入れ込んで

いる。クリーンヒル天山でもごみと一緒にピット内へ投入するのではなく作業員が一体ずつ、直接

手作業で焼却炉に入れている。現場でできる精いっぱい配慮だと思ふ。

## 国道203号線五条宮前横断歩道の移設について

**香月** 進捗状況は。

**防災対策課長** 地権者の同意も含め確認され、小城市より規制課へ要望が上げられている。



▲改良が望まれる国道203号線五条横断歩道



西 正博

## 災害弱者避難体制や 支援について

**市長** 計画を作成し避難行動支援者を登録している

**西** 近年、激甚化する自然災害で高齢者や障害者などの災害弱者が逃げ遅れ犠牲になるケースが多い。内閣府によれば、令和元年の台風19号や昨年の7月豪雨では死者、行方不明者の6〜8割を高齢者が占めたとのこと。災害時の迅速な避難支援を強化するため、国会において災害対策基本法が5月に改正された。努力義務ではあるが市町村は災害時に自力での避難が難しい高齢者や障がい者の方など避難行動要支援者と呼ばれる方の、各々の個別避難計画の作成を定めた。市町は民生委員や自治会、福祉関係者の方々の協力を得て、

要支援者ごとに避難方法や避難先、介助する人などを事前に決めておき早期避難の実現を目的に国は策定を求めている。小城市の取り組みと状況については。また、難病患者の方の状況の把握はできています。

**市長** 小城市において、個別計画の作成を進めている。約400名弱の登録をしている。避難支援を必要とする方は他にも多くおられるので今後も進めていく。

**福祉部長** 難病患者の情報に県に提供を求めて状況把握に努めている。

高齢者や障がい者など自ら避難することが難しい「避難行動要支援者」ごとに避難の流れなどを記載した計画(作成には本人の同意が必要)

### 主な記載項目

- 避難行動要支援者の氏名、住所、連絡先
- 避難支援が必要な理由  
例:「立つことや歩行ができない」など
- 避難を支援する人や団体などの名前  
例: 民生委員、自治会、自主防災組織など
- 避難先の場所、経路、移動する際の注意事項
- 避難支援で市町村長が必要と認める事項 など

## 「個別避難計画」の概要



谷田 信二

## 多久佐賀道路整備に伴う沿線地域

市長

多久佐賀道路の工事着工を強く要望していく

**谷田** 多久佐賀道路の進捗状況と課題について。

**市長** 令和3年度は、引き続き調査設計を行う。

**谷田** 国道203号線の安全対策の現状と課題は。

**建設部長** 市役所からダイレックス区間の歩道整備は今年度中に完了予定。

**谷田** 完了後の要望は。

**建設部長** 北の方向へ要望している。

**谷田** 生活道路(市道)安全対策の現状と課題は。



▲通り抜けに利用される生活道路(市道)

**建設部長** 通学路や住宅密集地内の狭い道路も速度を落とさず通行している。重大事故が発生する前に対策の検討を行っている。まずは注意喚起や速度抑制を目的の対策を実施していく考え。

**谷田** 接種対象が12歳からとなるが、対応は。

## ワクチン接種について

**谷田** 接種対象が12歳からとなるが、対応は。

**福祉部長** 教育委員会と協議し、接種の時期と保護者の承諾など書面関係もそろえていきながら対応していきたい。

## その他の質問

○65歳以上のワクチン接種状況、接種の優先順位、接種券配布計画、コロナ禍でのフレイル対策など。



松並 陽一

## サッカー場整備における課題は

市長

スケジュールが非常にタイトである

**松並** タイトになった原因とその対応は。

**総合戦略課長** 令和4年12月完成期限だが、排水の問題などが出てきた。整備の各工程を同時並行して進めていく。

**松並** サッカー場利用者がアイルのシャワー等を使用しやすいように、サッカー場とアイルの玄関を徒歩で移動しやすくできないか。

**文化課長** 文化財として保存していく上でも、フリーで利用してもらおうのは難しい。

**松並** 牛津駅周辺道路の整備状況は。

**総合戦略課長** 最短距離で移動できるように、路上の人道橋や横断歩道などの設置を検討する。

## 牛津のまちづくりの今後の方針

**松並** ゆめぶらっとや各公民館のように、牛津会館の一部をリーススペースとして開放することにより、市民に身近な施設にできないか。

**都市計画課長** 県道別府牛津停車場線の工期は10月27日までと県から聞き、市道牛津駅前線も今年度完了予定である。



▲(仮称)小城フットボールセンターのイメージ



富永 正樹

## 遊水地計画と 三里のまちづくりは

### 市長

移転の皆様へ寄り添い  
強い覚悟で事業推進を

**富永** ①上右原・下右原・山崎の関係3地区の総戸数と総面積は。  
②新県道に懸からない方や山べたに残る方への対応は。

③三里からの人口流出にならぬ整備は。  
④生け垣、庭木、庭石の扱いは。  
⑤供養塔や神仏の石像、墓地群などの扱いは。  
⑥買収された土地の残りは。  
⑦三里の文教地区の要衝でもある県道に懸かる西の橋交差点につながる市道の拡幅工事の実現化は。

②関係地区全体で5戸以上あれば国の国庫補助事業である防災集団移転促進事業（防集事業）を進めるか否かについて国に伺っている。

③できたら三里地域にとどまり、新しい所を探したいという方が多く、意向に添い地域として存続できるよう努力したい。  
④新しい移転先に住宅を建てていただいた後、自分で移す。  
⑤住家の代替地等移転先が決定後に話をしていく。

明で、期成会の中で検討していただく。  
⑦県道と下が県河川の山崎川になるところから、今、県を含めて実現に向けて協議を行っている。

**建設部長** ①90世帯で、宅地の分は約6万3,000㎡。

**建設課長** ⑥買収された土地の残りの分は、面積・状態が不



▲どこに決まるのか新たな移転先は



岸川 英樹

## 教育の充実、質の向上の 目標とは

### 教育長

自らの力を高め、仲間と共に  
学び高め合う

**岸川** 学校教育の考え方と教育の充実は。

**教育長** 12月の県の調査で、小学校では4年生の算数が県平均を上回り、そのほかの教科は県平均と同じか、平均を下回る結果。中学校は2年生の数学、英語が県平均を上回る結果、そのほかは平均を下回る結果になって

いる。現状を基に、市内全小・中学校では分析検討して学力向上に向けた授業改善、その学校に応じた改善を積み重ねている。もう一つは、共生の社会として特別支援教育の充実で、大きな柱である心の教育、学習状況の向上を図っていきたい。

**岸川** 少人数学年に対し校区外からの通学の考は。

**教育長** 現在小中学生で計56名区域外通学や指定校変更を許可している。今、教育的な配慮を設けているが、基準を改めて見直し拡充することも考えなければいけない。地域性または学校の実情に応じて対応できるように仕組みを考えなければいけない。と

**その他の質問**  
○防災施設（消防格納庫）について。



▲学習中の児童達



赤松 貴子

これからの観光政策は

市長

地域性を生かした観光振興に努める

**赤松** 小城市観光協会と連携が取れているか、また方向性は一緒なのか。

ある子どもたちに何を残しつつないでいくのか、市長のビジョンは。

**産業部長** 担当課のみではマンパワーに限界があるので、連携という点においては今後も観光振興を行う上で非常に重要な要素と捉えている。それぞれの団体が持っている得意分野を生かし、情報を共有、活用しつつ、一体となって取り組むことで、マンパワーの不足を補い、効果的な観光振興につなげていきたい。

**市長** 残すべきところはしっかりと残していく。また時代とともに変えていくべきところは手法として変えていくという不易と流行の理念の下に子どもたちにもしっかりと伝えていく。

その他の質問

○コロナウイルスに対する情報発信のあり方

○生活支援体制整備事業について

○防災について

**赤松** 政策の一つに「歴史、文化と歩んでいく自然豊かなまち」と掲げているが、市長として未来



▲清水の滝付近に設置されている風鈴棚



光岡 実

市長5期目の抱負と決意は

市長

7つの公約を上げている

**光岡** 先の市長選挙において江里口市長は、市民の負託を受け、5期目のスタートを切られた。5期目の抱負と決意は。

三点目は、フットボールセンターの事業推進で、令和4年度の完成を目指す。

買物、ごみ出し、付き添い支援など生活支援体制整備事業の推進。

四点目は、牛津拠点地区市街地活性化の計画的な推進。

七点目は、アフターコロナを踏まえ、小城市のまちづくりを語り合う懇談会の実施。

**市長** 今回5期目に当たり、7つの公約を上げていく。

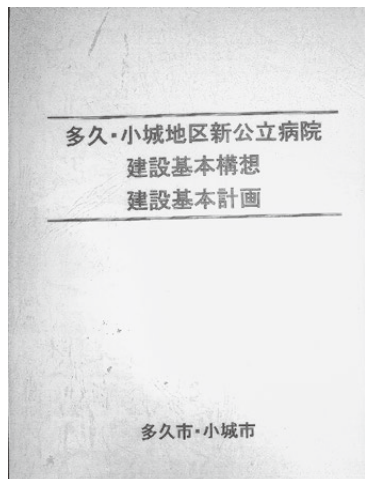
一点目は、国が実施する六角川水系緊急治水対策プロジェクトにおける牛津川遊水地整備で、

○市の人口と世帯数の推移と今後の予測及び課題と対策。

国、県と緊密に連携しながら地域の皆様方へ誠意をもって対応していく。

二点目は、道路ネットワークの構築で、佐賀唐津道路、多久―佐賀間の工期の事業促進について、国へのさらなる要請に努める。

に努める。



▲新公立病院建設基本構想、基本計画書



前田 博己

## キャンプ場など民間誘致の考えは

**産業部長** ニーズが高まっている事は事実と捉えている

**前田** 20代〜40代位の方から良く聞く要望の一つにキャンプ場やグランピングの施設を小城市にも造ってほしいということがあるが市の考えは。

**産業部長** コロナの影響もあり観光面でもかなりの影響が出ている中で時代や年代に応じたニーズの変化があるのは事実。まず芦刈町のキャンプ場を中心にその充実や周辺施設との連携、グランピング施設等の附帯施設の必要性も含め、取り組みを研究していきたい。

**その他の質問**

**前田** 今から災害リスクが高まる季節になってくる。災害対策本部を立ち上げる状況になった時、その中で感染者が出てしまつたと災害対策本部が機能しなくなることが懸念される。危機管理上災害対策本部に入る可能性がある方は先に接種するべきでは。

○カーボンニュートラルの実現に向けて市の考えは。  
○先端技術の活用による持続可能な行政運営について  
○新公立病院建設に伴う一部事務組合の設立について  
○ごみの不法投棄対策について

**総務部長** 小城市では、まず高齢者の接種を最優先との考えでやっている。今後その部分は考えていきたい。



▶統合計画が進む小城市民病院



松尾 義幸

## 必要な人に生理用ナプキン提供も

**総務部長** 生活困窮者に備蓄品を渡すことは可能

**松尾** ワクチンの予約は発想を変え、ハガキを送り、接種の有無を確認したらどうか。

**福祉部長** 55歳から65歳の次の段階の予約に、返信用ハガキを入れ、職場接種か・集団接種か・個別接種か希望を尋ねたい考えがある。

**松尾** 新型コロナウイルス感染症の影響による国保税の特別減免は、何人が受けたか。一度払った国保税をさかのぼって減免した場合、国の補填はあるか。

1,263万3,700円を減免した。すでに納付した国保税についても、小城市では減免の対象としており、この分についても国より全額補填される。

**松尾** 長引くコロナ禍で、生理用品が買えないなど生理の貧困が問題になっている。生理用ナプキンが必要とする人に無償で提供できないか。又、小中学校、図書館などにトイレットペーパーと同じように生理用品を置けないか。

**市民部長** 昨年6月より減免申請を受付、45件・

**総務部長** 災害備蓄品として1,120個ある。生活困窮などの相談者に



▲小城市防災備蓄、個包装の生理用ナプキン



中島 正樹

## 消防団員の処遇改善 どう取り組む

市長

協議を重ねてしっかりと検討していく

**中島** 小城市消防団の現状と課題、今後の方針は。

**市長** 市の消防団員の条例定数1,145名に対して令和3年4月1日現在の団員数957名、団員数が全国的な減少傾向にあり、市においても減少が見られる。

また、市では45の消防格納庫を管理しているが、いずれも合併前の格納庫を引き継ぎ使用している。全体的に老朽化が進み整備が必要になっており組織体制等と併せて考えていく。

**中島** 団員の減少傾向対策は。

**総務部長** 団員による勧誘を行うと共に、若年層への消防団のイメージアップも兼ねて、広報紙の配布などのPR活動も毎年実施している。

**中島** 格納庫の整備方針は。

**防災対策課長** 現在、消防団と協議中であり様々な意見があるが集約し整備方針をつくっていききたい。

**中島** 団員の処遇改善は。

現在、消防団と協議中であり様々な意見があるが集約し整備方針をつくっていききたい。



▲極寒の中、出初式に臨む消防団員

**副市長** 今後、しっかりと検討していく。



江島佐知子

## 早めの情報発信で 安全な避難を

市長

早めの対応で  
的確な避難行動を促す

**江島** 災害時の避難について

①4つの拠点避難所は安全と言えるか。  
②昨年はコロナ禍での避難だったが反省点は。

③災害情報配信サービス等プッシュ型の情報発信の普及に力をいれるべき。  
④福祉避難所として4業者6施設と協定しているが、いずれも高齢者施設である。障がい者関係の施設との協議はどうか。

**市長** ①駐車場や周辺が水没したりしている。早めの避難が重要。車も水没しない場所へ誘導する。  
②避難所業務が増加している。受付業務の簡素化を図ると共に避難所対応

職員を増員する。  
③事ある機会に広く普及するよう努める。  
④具体的にはまだ進んでいない。今後進めていく。

**アフターコロナを見据えた観光の取組を**

**江島** ①芦刈オートキャンプ場は老朽化しており利用者目線での整備、サービスが必要。

②観光協会がふるさと納税業務頼みではなく、市と連携して観光振興業務に力を入れるよう体制を整備すべき。

## その他の質問

○下水道整備事業の見直しについて。



▲コロナ禍で3密を避けた避難所の様子





諸泉 定次

## 医療危機での公立病院の認識は

**市長** コロナ禍で公立病院の存在は見直されている

**諸泉** 公立病院統合の診療科目で、例えば内科・小児科・外科など両病院で重複した診療科目での医師確保と、かかりつけ医としての機能を持つことで理解しているのか。

**福祉部長** 医療圏内での集約が図られている診療機能の提供状況などを見極め、地域に密着した診療科目の開設を進めます。それぞれの専門の分野を持ち寄る形での運営を計画している。

**諸泉** 患者が減ってきている現状で、交通手段がない高齢者や障害者の患者の新公立病院直結の交通網を作る必要がある。

**建設部長** 多久市の公共交通担当課など公共交通の維持確保について協議しており、高齢者の交通弱者に寄り添った通院手段の確保を図りたい。

**諸泉** 50年、60年と持続できる公立病院を市長はどのように考えているのか。

**市長** 例えば発達障害の子どもたちを最初に判定し療育していく。県内ではそういういった医療機関が不定している。特色ある病院が持続可能な病院経営につながる。

がらと思う。

### その他の質問

- ごみ減量化
- 発達障害児の子どもサポーターの増員



▲コロナ禍で患者減でも奮闘する小城市民病院

## 令和2年7月 豪雨災害特別委員会報告



▲地滑り対策として集水井を2か所設置 (西分)

**質問** 西分道路の災害復旧の完了予定は。  
**答弁** ネクスコ西日本との協議によるが、梅雨明けと台風シーズンを終えて地滑り状態を見てから農道復旧を考えている。現在ネクスコ西日本で地滑り調査をしている。高速道路側へ4mm、隆起が7mm観測されている。

**質問** 集水井を造ったことで周囲の地下水や湧水への影響はないか。  
**答弁** 今のところ報告はない。  
**質問** 今回のネクスコ西日本への分筆のための委託料134万8千円について、何筆が対象か。  
**答弁** 2筆であるが、近くに基準点がなく遠くの基準点からの測量になり、高額になっている。